

# 強豪支える熱い想い

## 日大新聞



「宝島」を練習する吹奏楽部

札幌日本大学高等学校吹奏楽部は全国大会通算出場回数9回を誇る強豪校である。「勝ちに行きたい」という強い想いと部員一人一人が持つ熱が、吹奏楽部を

11月29日  
土曜日

記念号外



強豪たらしめる源泉だ。部員は平日は朝から夜まで、休日は月に1度のオフを除き、彼らが追求するのは単なる練習量ではない。彼らはその長い時間を過ごす練習の中で「いい演奏をしよう」ということを常に心掛けています。部長は「何もない時間を無くしたい」と語り、練習の質を追求している姿勢を見せた。部員同士を「家族」と表現するほどの強い絆も、強さの特徴だ。その強い絆と信頼は演奏をより息の揃った素晴らしいものへと引き上げてくれる。バスクラリネット担当

の細川さんは「一人一人が熱を持って本物の音楽を奏でたい」また、それを通じて「絆も本物」にしていきたいという目標を掲げる。どんな吹奏楽部にしたいかについて部長は「想いを持って行動できることを大事にしていきたい」と語った。その想いを胸に、今日も彼らは練習を続ける。

(大杉歩果)



部員 = 細川陽向さん、部長 = 小林泰樹さん  
共に2年